

特別講演者

【略歴】

白川方明氏(青山学院大学国際政治学部特任教授、前日本銀行総裁)

1972 年、東京大学経済学部卒業。同年、日本銀行入行、理事を経て 2006 年、京都大学公共政策大学院教授。2008 年 4 月、日本銀行総裁就任。2013 年 3 月退任。2011 年 1 月から 2013 年 3 月まで BIS 理事会副議長。2013 年 9 月から現職。主著に、『現代の金融政策 理論と実際』日本経済新聞社、2008 年、『バブルと金融政策』(香西泰、白川方明、翁邦雄共著)日本経済新聞社、2001 年。

【講演要旨】

中央銀行の目的は、物価の安定と金融システムの安定の達成にあると言われることが多い。しかし、これは中央銀行にはふたつの目的があると理解すべきではなく、より大きな共通の目的、すなわち、安定的な金融環境を維持することを通じて経済の持続的な成長に貢献することを中央銀行は目的としていると理解すべきである。中央銀行がそうした目的を果たす上で、証券市場は実に重要な役割を果たしている。そのことを強調した上で、証券市場における価格形成、資金流動性と市場流動性、証券の決済システム等について論じ、最後に証券市場において中央銀行の果たすべき役割についても論じたい。